

きらめき



通所リハビリ
ご利用者様の作品

「おもてなし」の文化

石川は「もてなし」を大事にする土地柄であるが、今年の3月14日の北陸新幹線開通に向けて、沢山の来訪者に対して失礼がないように、その在り方が話題となっている。

西洋の方々が、異文化としての日本の禅とオモテナシに興味をしめされるようであるが、このあたりに日本人の行動の特徴・ポイントがあるかもしれない。

「もてなし」の行為には、相手が満足することでこちらも喜びを感じるという関係があり、この相互関係は人間関係・社会生活のあらゆる場面での基本的なことであり、古今東西、普遍的なこととして続いてきたものであろう。

しかし、日本の「もてなし」と西洋の「ホスピタリティ」であるが、大事な方に対して何らかの「物と心」を提供するという同じ行為であっても、言葉の響きや内容が少し異なるように感じられる。強いて言えば、「もてなし」は表に出ず、不在の相手であっても、気づかれぬ時間や場所であっても相手に心配りをするという、「侘び寂び」的な特徴があるのではないかと考えていたからである。

少し前に「ユマニチュード」という言葉を知った。フランス発の魔法のような認知症ケア技術である。優しさが基本であるが、次の四つのプロセス：1. 相手の目線で見ると…、2. 話す…、3. 触れる（飛行機の離発着のように）…、4. 支えて一緒に40秒立つ…を毎日続けていくと素晴らしい結果（仲良くなれて…）が起こるという「ケア方法」である。とても力強く、東洋的でもあることに驚いた。そして仏教の中にも同じような話があることを思い出した。

「無財の七施」という有名な「思いやりの心」である。物やお金、地位や名誉がなくても、心さえあればいつでもどこでもできる、次の七つの施の話である。1.「眼施」口ほどにもの優しい温かいまなざしで…、2.「和顔施」穏やかで優しい笑顔（偉大な力）で…、3.「愛語施」思いやりのある言葉で…、4.「身施」身体を使って…、5.「心施」相手に心を配り…喜怒哀楽を共感…、6.「床座施」相手を思いやり（進んで場所を譲る）…、7.「房舎施」求める人あれば（我が家でも、雨露しのぎに提供）…。

人間は誰でも、「対等」で無償の関係の中で満足と喜びを共有したい」という同じ遺伝子を持っているが、東洋と西洋では、いろんな場所において表現型が少し異なるだけなのだと思います。

施設長 大家 他喜雄

歳時記 一年の笑顔

毎年恒例のお花見！
みなさんいい笑顔です

お花見

敬老の集い

みんなで手拍子♪



大場潟乃太鼓演奏会



いいリズムやねえ



大迫力の音に
びっくり!

森林公園



綺麗やねえ

気持ちええな〜

旭日公民館
女性学級



華やかな獅子舞と
賑やかな太鼓の共演!

忠縄町
獅子舞



小春日和の公園を散歩しました



満開のあじさいを
みんなで楽しみました

新緑ドライブ



ゆったり
まったり……

足湯ツアー

新年会



フラダンスショー



本格的なフラダンスに
みなさんの目が釘付けでした



今年も楽しい一年にしましょうね

事務長になって

事務長 谷内 孝範

老健ホームいしかわの事務長に就きまして早1年が経とうとしていますが、日々いろいろなことがあり、新鮮でもあり覚えることも多く力不足を感じています。

当老健ホームいしかわは、介護保険サービスを提供する施設になります。私と介護保険との関わりは平成12年の介護保険制度がスタートした時から7年間に渡り行政の立場で携わった経験を持っています。

その当時は、高齢化が進展する中、高齢者介護を社会全体で支える仕組みとして創設されたこの介護保険制度のスタートにあたり、介護保険事業所の指定や指導、制度の普及・定着に関する業務などに携わり、県内各地のいろいろな介護保険施設に出向き、施設の状況や介護の現場などを見させて頂きました。当施設の事務長というのはその経験も活かせる良い機会を頂いたと安易に考えていたところもありましたが、外から短時間で見ていた時と違い、中に入って日々介護の大変さや建物や設備管理の難しさなど、事務長の職責の重さを痛感しています。

事務長としては、利用者の皆様と直接関わる機会はありませんが、ボランティアの方による歌謡ショーなどの施設行事の時などは、利用者様が催し物にあわせ笑顔で楽しそうに体を動かされたり、手拍子をされる姿を拝見し元気を頂いています。

また、当ホームの施設は、建設後20年が経過し施設や設備の老朽化も目立つようになって来ていますが、利用者様に不便をお掛けしないように、また、快適な生活を送っていただける環境整備に奔走しています。

当老健ホームいしかわでは、「笑顔と暮らす、いきがいのある日常生活」をテーマに利用者様のケアに取り組んでいます。昨年12月に行いました利用者家族様のアンケートでは、感謝のお言葉も頂きましたが、いくつかの意見・要望なども頂き、その中には、外部の方による音楽を聞くことや外出の機会がもっとあれば良いのではという意見がありました。私も同様に日常生活の中にいろいろな活動を取り入れることで、利用者様の日々の生活に活気が出て同時にいきがいに繋がると思っており、このような機会を少しずつでも増やして行ければと考えています。この他の意見・要望につきましても、できる限り実施できるよう職員とともに努力を重ね質の高いサービス提供を目指し、当ホームのテーマの実現と今後さらに進展する高齢化社会を担う笑顔の絶えないより良い施設となるよう、微力ながら業務遂行に邁進したいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

広報委員会の紹介

支援相談員 平野 大介

老健ホームいしかわには、多職種を構成メンバーとした11の委員会があります。広報委員会は、『ホームページの作成・更新』『施設広報誌(きらめき)の作成・配布』を中心に活動しています。

ホームページの更新は、主に行事の様子を月2回のペースで行っています。日常生活を振り返り、どのような話題をピックアップするか各委員で検討しています。結果『笑顔が溢れる余暇活動』を取り上げるべく、行事計画を担当する『いきいきライフ委員会』と協働し、平成26年度は行事活動の回数が増加しました。

利用者様のご家族様の中には、遠方でなかなか面会に来ることが出来ない方もおられます。ホームページを通じて暮らしぶりを知って頂く事で、少しでもご家族様の安心に繋がればと思います。ただ、現在ホームページに掲載している写真は、個人情報保護の観点により『個人が特定出来ない』画像を使用しています。そのため表情豊かな利用者様の写真を皆様に御覧頂く事が出来ず、残念に思う事もあります。難しい問題ではありますが、今後より良いホームページを作る上での課題であり、ご家族の皆様には、写真使用についてご理解を頂ければと思います。

一方、地域の皆様は『高齢者施設』にどのような印象をお持ちでしょうか。イメージが湧きづらい、または近寄りたいたいと感じていらっしゃる方も多いかと思えます。そのため、老健ホームいしかわを身近に感じて頂ける様、日常生活の一端ではありますが紹介しています。ぜひホームページや当広報誌『きらめき』を御覧頂いて、困った時には頼りにされる施設でありたいと思っております。

最後になりますが、今回の『きらめき』はいかがだったでしょうか。お気軽にご感想をお聞かせ頂ければ幸いです。今後の紙面作りの参考にし、皆様知りたい情報をお伝え出来る様、努めて参ります。よろしくお願ひ致します。

小学生と楽しい時間を過ごしました

平成26年12月18日(火)に、金沢市立森本小学校4年3組の皆様と利用者様の交流会が行われました。
最初は皆笑顔で迎えてくれたのですが、最初は利用者・児童の両方でゲームになり、力を合わせて競争をしようという一体感が生まれていった様子でした。
次のふれあいの時間は、児童の皆様から贈られたお言葉もいただきながら紙芝居を聴くという心温まるもので、利用者様の嬉しそうな表情が印象的でした。
『歌のプレゼント』では、『栄光の架け橋』など2曲の合唱もあり、盛り沢山の内容の交流会になりました。
森本小学校の32名の児童の皆様、担任の先生、楽しいひとときをありがとうございました。来年もまた、お待ちしております。



老健ホームいしかわ ホームページより

〈老健ホームいしかわ〉

施設理念

利用者本位の 地域に優しい
社会から支持される 福祉活動を
献身的な精神で 提供する

基本方針

- 利用者の意志及び人格の尊重
- 利用者の有する能力に応じ、自立支援を目指すサービスの提供
- 地域及び家庭との結びつきを重視した運営
- 職員、組織、施設として研修により人材の育成を図る

最後まで「きらめき」をご覧頂きまして、ありがとうございます。
皆様の心の中に少しでも温かい想いが伝わっていれば、幸いに存じます。

“こころ”は誰にも見えません。でも、“心遣い”は見えます。
同じように、胸の中の“おもい”は見えません。でも、“思いやり”は感じる事ができます。

編集後記

“心遣い”“思いやり”。

それらは人が人として生きていくために大切なこと。誰かのために何が出来るかをよく考え、日々実践する。人徳を高める努力をする。そして、たったひとつの行為や言葉で人の心を救う…そんなサービスを心掛けていきたいですね。

巻頭言「おもてなし」の文化のお話にて、これらの想いが繋がっているような気がします。
“禅”の世界を見だし、日本人らしさや先人の教えを大切に。穏やかに生きるためには、慈悲や感謝の心を持つ。現代人が忘れつつある事柄を改めて考える機会となりました。(C.O)

ボランティア等をして
頂いたみなさま、
本当にありがとうございました。
ございました。

今後も「話の相手」
「本読み」
「散歩の同行」等の
お手伝いをしてくださる
ボランティアを
募集しています。

